

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 かたちの特徴

影絵をみて、何の動物なのか考え、絵と影絵を合わせてみる

環境をデザインする

●準備した物

影絵カード、台紙

探究活動を実践する

●活動内容

動物の名前や特徴を話す

影絵を体験する

●子どもたちの様子

動物の影を見せ、「この影はだれかな？」と問いかけると、「ゴリラ!」「ラクダ!」などすぐに答える姿があった。理由を尋ねると、「形がそうだから!」という答えが多かったが、実際の絵を見せると「体が大きい」「足が太い」「お尻が丸い」「ひげがたくさんある」と、より細かな特徴に気づき、自分の言葉で表現する姿が見られた。また、鳴き声や特徴的な動きにも関心をもち、「ウホウホ」と言いながら胸をたたいたり、「ブーブー」と鳴き声をまねもしながら、様々な特徴を自分なりにとらえて表現しようとする様子があった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

影の形の特徴をしっかりと捉えて答えることが出来ていた。絵になると逆に捉えていた特徴を言葉にするのが難しく、答えられない子どもたちがほとんどだった。楽しんで行っていた為、遊びの中でも取り入れて様々な視点で見つて特徴を捉えたり、興味をもてるように進めていきたい。

講師より

影の形を見てすぐに動物を思い浮かべる姿から、子どもたちの想像力が豊かに育っていることを感じた。実際の絵を見ることで、目に見える具体的な特徴に着目し、それを自分の言葉で伝えようとする姿から、観察力や表現力のそだちがうかがえた。また、鳴き声やしぐさをまねる姿は、楽しみながら動物の特徴に自分なりの視点で向き合っていることが伝わってきた。友だちとのやりとりの中で、言葉や発想の幅が広がっており、これからも安心して興味関心を深めていけるような環境づくりを大切にしていきたい。

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 仲間分け

色、形で仲間分けをする

環境をデザインする

●準備した物

カード、台紙

探究活動を実践する

●活動内容

色、形で仲間分けをする

並べて比べる

●子どもたちの様子

カードがたくさん並ぶなかで「どんなのがあるかな？」と尋ねると、子供たちは次々に色や形を口にし、気づいたことを楽しそうに共有していた。仲間分けに取り組む際には、「どうやって分けたいかな?」「仲間って何?」と戸惑う姿も見られたが、友達の様子を見て真似したり、自分の好きなカードを集めたりしながら、それぞれの方法で分類しようとする姿があった。台紙にカードを置く場面では、「白の○の下じゃない?」「ここだよ!」と声をかけながら嬉しそうに並べていく姿や、「また見つけた!」と、確かめながら進める様子があった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

講師の説明と手元のカードが合っているか1つ1つ確認をし「自分で出来た」ことが自信へと繋がっている子が多かった反面、周りの子と違うことに不安を感じてしまう場面もあった。子どもたちの小さな「出来た」の声やひらめきや豊かな発想を大切にしながら「正解はたくさんあるということ」を伝えていく。手先を動かし学ぶことによって楽しく取り組んでいた。

講師より

カードの特徴にすぐに気づいたり、じっと見つめて考えようとする姿がみられ、関心をもって取り組んでいたことがうかがえた。仲間分けでは、友達のやり方を参考にしながら、自分なりに分類する方法を見つけようとする姿もあり、周囲との関わりを通じて理解が深まっている様子を感じられた。カードの配置では、友達とやり取りの中で楽しみながら取り組む姿が印象的だった。今後も、子ども同士のやり取りや発見が自然に生まれるようなかわり方を意識していきたい。

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 数の比較

数の比較をして、「同じ」「多い」「少ない」など比較を表す言葉の意味を理解する

環境をデザインする

●準備した物

タイル

探究活動を実践する

●活動内容

数の比べ方を考える

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年6月13日
時 間	45 分
参加人数	10 人

●子どもたちの様子

「赤と青、どちらが多い?」「いくつ多い?」と尋ねると、子どもたちは次々と手を挙げ、自分の考えを伝えようとする姿が見られた。ホワイトボード上のカードの操作を自分たちで行う中で、一列に並べると違いが分かることに気づき、「ぴったりくっつけて!」との声を受けて並べ直すと、「3個多い!」「わかりやすい!」と、声があがった。その後も、「どっちが多い」「いくつ違う」という問いに落ち着いて向き合い、迷ったときにはカードで確かめ、自信をもって答える姿が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

数の概念が身に付いてきて、ランダムに描かれたイラストをすばやく数えたり「ひとつ多い」「少ない」を理解して取り組み成長を感じた。また、数の差を調べる時には、友だちの様々なアイデアが自分自身の気づきに繋がっており、正解を知るだけでなく、色々な考え方に触れる機会も大切だと感じた。

講師より

「どちらが多い?」「いくつ違う?」という問いかけに対して、自分の考えを進んで発言しようとする姿から、子どもたちの意欲や積極的な姿勢が感じられた。視覚的に確かめながら理解しようとしたり、友達の声を取り入れて工夫する姿からは、数量に対する探求心の深まりがうかがえた。自分たちで方法を考え、確かめる過程を通して、数量を比べる力や、根拠をもって答える力が着実に育っている。今後も、子ども同士のやりとりを大切にしながら、考えを深めていけるような問いかけを意識して関わっていききたい。